

## 部活動における体罰根絶に向けた今後の対応について

秋田県教育委員会

今回の事案発覚により、部活動指導における体罰が表面化しにくい状況下で行われ、根絶には至っていない現状が明らかになった。県教育委員会として、本事案への一連の対応を一過性のものとせず、学校や各競技団体とも連携を図り、体罰や不適切な指導の根絶を目指すとともに、健全で望ましい部活動の運営に継続的に取り組んでいく。

## 1 体罰事案の実態把握に関する問題点

- ・定期的に実施している「人権アンケート」では、部員が体罰被害を申告することができなかった。
- ・管理職が頻繁に体育館を巡視していたが、体罰等の実態を把握できなかった。
- ・過去にも体罰に関する情報提供があり、その都度、関係者への聞き取りを行ったが、体罰等の把握には至らなかった。

## 2 今後の対応

## I 新たな取組

- 教職員研修の義務付け
  - ・新たな研修用資料を全県立学校に配布し、今年度中の研修実施と報告を義務付け
- 部活動の指導実態の把握
  - ・管理職や教員らが部員から直接様子を聞くなどして状況を把握
- 閉鎖的な部活動環境の改善
  - ・保護者や職員、他生徒による練習見学の奨励、顧問同士の互見による活動状況の把握
  - ・教育庁職員の学校訪問による活動状況の把握、指導・助言
- 体罰・暴言等の不祥事の根絶に向けた教育長からのメッセージ発出
- 緊急の研修会実施
  - ・適切な指導・運営のために「望ましい運動部活動の在り方研修会」をオンラインで実施

## II 既存の取組の強化・改善

- 部活動の位置付けの明確化
  - ・教育活動の一環である部活動が、多様な学びの機会として機能するよう指導
  - ・「不祥事防止マニュアル」「部活動ガイドライン」の周知徹底と、「部活動運営委員会」の定期的な開催
  - ・「スポーツ指導者資質向上研修会」等の各種研修会において、アンガーマネジメントやチェックシートの活用を指導
- 各競技団体への研修依頼
- アンケートの実施方法の改善
  - ・人権アンケートの実効性を高めるため、生徒の声を踏まえて文面や取扱いを改善
- 生徒・保護者、学校関係者への積極的な情報開示
  - ・不適切な指導事案の共有と再発防止指導
  - ・部活動運営方針や計画などをホームページで公表
- 相談しやすい体制づくりと窓口の周知
  - ・生徒や保護者が不安や悩みを適時相談できる校内外の相談窓口の周知